

科目名 診療の補助技術Ⅰ		配当時期 2年次4月	講義担当者
時間割表記名 診療の補助技術Ⅰ		単位数 1単位	川野 友美 樋口 裕也
		時間数 30 時間(16 回)	富永 圭一
事前学習内容			
演習前には技術の動画を視聴する。テキストと動画を活用しながら、技術の根拠を含めた手順をレポートにまとめる。講義の前には、呼吸・循環・血管・皮膚に関する解剖生理を学習し、レポートにまとめる。			
授業目標			
1. 与薬、輸血、創処置における看護の役割を理解し、実施する基本的な援助技術を実践できる。			
2. 診療・治療・看護で使用する医療用機器の原理を理解し、その取扱い方法と留意点が理解できる。			
DPとの関連			
DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	与薬の技術 1)与薬の基礎知識 (1)薬物の基本的性質(与薬方法、薬物動態) (2)看護師の役割 2)援助のための基礎的知識 (1)経口与薬・口腔内与薬 (2)吸入 (3)点眼・点鼻 (4)経皮的与薬 (5)直腸内与薬	講義	テキスト①③ 資料
2	注射の基礎知識 1)注射方法の種類と概要 2)注射筒と注射針 3)実施上の責任	講義	テキスト①③ 資料
3	与薬の援助の実際	演習(技術)	テキスト①③
4	【経口与薬・吸入・点眼・経皮与薬・直腸内与薬】	グループ学習	資料 * 4 回目 45 分
5	注射の実際	演習(技術)	テキスト①③
6	1)筋肉内および皮下注射に必要な物品の取り扱い 2)筋肉内注射の方法(三角筋、中殿筋) 3)皮下注射の方法 【シミュレーターを使用しての筋肉内注射、皮下注射】	グループ学習	資料
7	点滴静脈内注射の実際	演習(技術)	テキスト①③
8	1)点滴静脈内注射に必要な物品の取り扱い 2)翼状針による点滴静脈内注射 (1)針の固定 (2)滴下速度の調節 【シミュレーターを使用しての点滴静脈内注射】	グループ学習	資料

9	医療機器の原理 1) 医療機器とは 2) 医療機器を使用するための基礎知識 (1) 医療機器における医療者の役割 (看護師、臨床工学士、安全管理責任者) (2) 電気設備 (3) 医療用ガス設備 3) 医療機器の種類 (1) 検査のための医療機器 ① 心電図モニター・血圧計 ② パルスオキシメーター	講義	テキスト② 資料
10	医療機器の取り扱いの実際① 【心電図モニター・パルスオキシメーター・12 誘導心電図】	演習(技術)	テキスト② 資料
11	医療機器の取り扱いの実際② 【輸液ポンプ・シリンジポンプ】	演習(技術)	テキスト② 資料
12	輸血時の意義と看護師の役割 1) 輸血の基礎知識 (1) 目的 (2) 種類 (3) 副作用 2) 輸血の援助と方法 (1) 患者への説明と同意 (2) 実施方法	講義	テキスト①③ 資料
13	創傷管理 1) 創傷とその治癒過程 2) 創傷治癒のための環境づくり 創傷処置 1) 創洗浄と保護 2) 包帯法(目的・種類・方法)【包帯法】	講義 演習	テキスト①③ 資料
14	技術試験(筋肉注射)	試験(技術)	
15			
16	筆記試験(45 分)	試験(筆記)	
受講上の注意 ○グループ学習はジグソー法を取り入れる。リーダーが教員から技術を学び習得し、メンバーへ説明・指導をしていく。 ○各自、技術が習得できるよう練習を行う。ただし、針を使用するときは、教員の見守りの下、練習を行う。			評価方法 技術試験 筆記試験 レポート
○臨床薬理学の学習を活用しながら学ぶため、復習をしておく。			

使用するテキスト

- ①系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 医学書院
- ②系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論
- ③看護技術プラクティス 学研

参考文献

- ①オールカラービジュアル 基礎看護技術ガイド, 照林社
- ②根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院